

【重要！！】社会文化科学教育部博士前期課程修了予定者 各位 ＜令和2年度3月(2021.3)修了 修士論文等の提出について＞

社会文化科学教育部博士前期課程における修士論文又は特定課題研究(以下「修士論文等」という。)については、以下の要領で作成提出してください。

1. 修士論文と特定課題研究について

研究コースに所属する学生は修士論文を提出しなければなりません。専門職コースに所属する学生は、修士論文または特定課題研究を提出することになります。**修士論文とするか、特定課題研究とするかは、指導教員と相談の上、研究題目とともに定められた期日までに届出なければなりません。**

なお、本教育部においては、修士論文を「学術論文であること」、特定課題研究を「特定の課題について実地調査や文献調査を行い、各分野の学術的観点を踏まえて、説得力と実際上の貢献がある調査・実践に関する研究報告書や提言書としてまとめたもの」と位置づけています。

2. 修士論文等の提出

- (1) 修士論文等及びその要旨 各4部(※審査委員が4名いる場合は5部)
- (2) 提出先 社会文化科学教育部教務担当 【社会人支援センターへの提出は不可】
- (3) 提出期間
令和2年12月14日(月)～令和3年 1月12日(火)17時【締切厳守】

3. 修士論文等の体裁

- (1) 判型 A4判
- (2) 様式等
 - ① 縦書き横書きいずれも可。ただし縦書きの場合は横長、横書きの場合は縦長。
 - ② 10～11ポイントの文字で1行40字、1頁あたり20～40行で印刷し、上下左右に適当な余白を設けてください。
 - ③ 枚数については所属コースの指導に従ってください。
- (3) 日本語以外の言語等、上記に依りがたい場合は所属コースの指導に従ってください。
- (4) 熊大生協にて購入出来る「黒表紙」※1に従って綴るか、製本(簡易製本で可)し、表紙には以下の事項を記載した紙を(所定の様式(表紙)※2を)貼付してください。
 - ① 「修士論文」又は「特定課題研究」
 - ② 専攻、コース、学生番号、氏名
 - ③ 論文題目(副題を届けている場合は副題も記入)
* 題目は、副題も含め必ず題目届に記載したとおりのものとします。
- (5) 論文巻頭に修士論文等の要旨を綴り込んでください。要旨の体裁は以下のとおりとします。
 - ① 所定の様式(要旨)※3に従って作成してください。
 - ② 字数1200字程度(10～11ポイントの文字で1行40字、30行程度、横書きのみ)にしてください。
 - ③ 日本語以外の言語による場合はコースの指導に従ってください。

※1熊大生協にて「黒表紙」を購入出来ます。綴じ紐を含め400円程度です。

※2及び※3はそれぞれ熊本大学社会文化科学教育部ホームページに掲載しています。

掲載URL↓



令和2年10月30日 社会文化科学教育部教務担当